

10.22 Sat 16:30
↓
18:30

港まちポットラックビル2F

あなたの空き家、活かせてますか？

talk show

空き家を考える

空き家や古い建物の活用のノウハウを学ぶ

2030年頃、日本は3軒に1軒が空き家になるという驚愕の予測がされています。

そのため、空き家や古い建物を新築に建て変えるだけではないアプローチに大きな注目が集まっています。

今回、まちの社交場である「NUCO」の再生に携わった米澤隆氏に

実際に再生された建物の事例についてお話を伺います。

空き家や古い建物のリノベーション事例から過程や課題を学び、

一緒に空き家の利活用について考えましょう。



米澤 隆氏 | Takashi Yonezawa

建築家 / 米澤隆建築設計事務所主宰 / 大同大学専任講師
1982年京都府生まれ、愛知県在住。空き家の再生の手法・研究をまとめた「空き家再生データバンク」の制作、東海圏の学生が空き家問題に取り組む「みなとまち空き家プロジェクト」の監修などを行う。主な作品に「公文式という建築」（2011年）、「福田邸」（2013年）、主な受賞に「The International Architecture Award 2013」、「日本建築学会作品選集新人賞2015」などがある。アッセンプリッジ・ナゴヤでは2016年のプレイベントから2020年まで、アーキテクトを務める。
www.takashiyonezawa.com

無料

申込不要
定員30名



DIYスクール

丸協小牧支店の協力により大工さん、工務店さんを講師としてお招きし、DIYに必要な日曜大工の技術や知識を家具製作の実践を通して学ぶというもの。

さらに、その際に製作された家具は、港まちの公設市場に提供させていただき、家具の一つ一つが組み合わせりトランスフォームし休憩空間、展示空間、イベント開催空間などの公共空間をつくりました。

まちの建築便利屋さん

電球の取り替えから、壁紙や床の張替え、ペンキの塗装など、家のお困りごとを建築を学ぶ学生の力で解決するプロジェクトです。

雑草や放置ごみの分別・処理を行ったり、台風で壊れた屋根にシートをかけたり、空き家の裏庭にブロックを敷き詰めて整備したりと、西築地エリアを対象に依頼者の方には材料費のみご負担いただき、お手伝いをしました。

(今年も実施します!お気軽に「空き家相談室へ」)



アッセンブリッジ・ナゴヤ

2016-2020

2016年からスタートした港まちを舞台にしたクラシック音楽と現代美術のフェスティバルであるアッセンブリッジ・ナゴヤのアーキテクトを務めました。

旧・名古屋税関寮、旧・潮寿司、旧・西本接骨院、旧・いずみや染物店などの空き家、空き店舗をリノベーション、再利用し、会場として再生させています。

「みなとまち空き家プロジェクト」とは?

名古屋の建築学生・大学教員が中心となった団体です。
名古屋の港まちの空き家を対象に調査、企画、設計、改修を行っています。
社会問題となっている空き家が、まちの資源となってまちに開かれ、
人びとが集う新たな場所として生まれ変わることを目指しています。

米澤隆建築設計事務所(企画・監修)



主催：港まちづくり協議会

協力：アッセンブリッジ・ナゴヤ

企画運営：みなとまち空き家プロジェクト

お問合せ先：052-654-8911 (港まちづくり協議会)